

エコアクション21 環境経営レポート



対象期間

令和2年8月～令和3年7月
(2020年) (2021年)

株式会社 柏原鐵工所

令和3年12月25日 作成

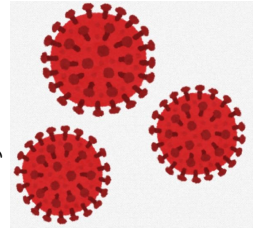
目 次

1	社長挨拶	2
2	事業活動の概要	3
	会社概要	
	環境管理に関する組織図	
	環境管理における活動体制	
3	環境経営方針	5
4	活動指針	5
5	環境経営目標（令和2年度）	6
	目標設定項目	
6	環境経営計画	8
7	今年度の目標、実績、評価（令和2年度）	9
8	その他の環境活動	10
9	今年度の活動評価（令和2年度）	11
10	該当環境関連法規、訴訟の有無	12
11	地震、火災、液体物の漏れ等による緊急時対応マニュアル	13
12	代表者による評価と見直し及び指示	14
13	来年度に向けて	15



社長の挨拶

今年度は、令和2年始めに始まった武漢肺炎ウイルスの影響で経済活動はメチャクチャになり、人々の生活は混乱してしまいました。日本で初の“緊急事態宣言”が発出され、企業はリモートワークを強要され、学校は臨時休校となり、商店などは生活必需品を扱う店以外は閉めるように政府から通達されました。それに伴い政府は国民一人に10万円を配ったり、企業には持続化給付金を配ったり、何とか急場を凌いでいます。春夏の甲子園大会が中止となり、夏季オリンピックも一年先延ばしとなりました。



我々の業界も直撃は無いものの、工程が伸びたり、延期になったりしています。又、ウイルスの感染防止策として必要な備品を揃えなくてはなりません。従業員もマスク・うがい・手洗いは常識となり昼食時の食堂も工夫を凝らすことになりました。

ea21関連のニュースによると、レジ袋の有料化に加えMyボトルの推奨とかコンビニ店などのプラスチックスプーンやストローの廃止等々「面倒くさい・・・!!」と思われることも進めるようです。電力の構成比率で火力発電所を将来ゼロにして再生可能エネルギーを増やそうとしています。原子力発電の存廃はまだ日本では中途半端で決まっていません。しかしながら日本の政権は国際社会に対して『2050年までにCO₂排出量を実質ゼロにする。』と約束しているようですが、実際に出来るのでしょ



うか。それに向けて努力するしかないようです。【SDGs (エスディージーズ)「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」】という言葉もかなり浸透してきてテレビでも聞くようになりバッジをしている人を見かけることも多くなりました。ea21にも共通する物もあるようです。経済だけで突き進むのではなくて環境に配慮して事業を進めることによって未来の人々が公害のない住みやすい社会になるように願っています。

令和3年12月

株式会社 柏原鐵工所

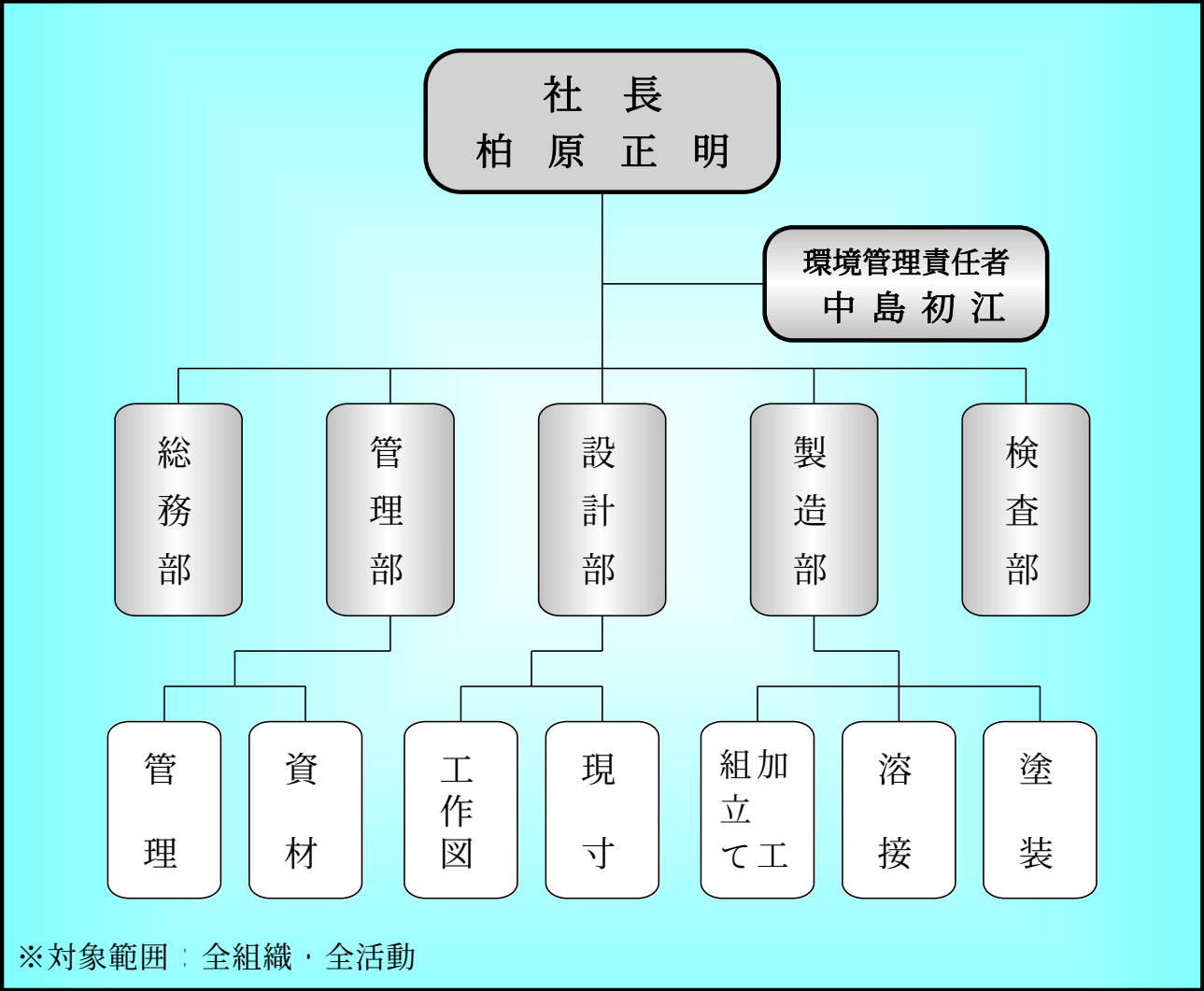
代表取締役社長 柏原正明

事業活動の概要

会社概要

事業所名 代表者名	 株式会社 柏原鐵工所 代表取締役社長 柏原正明														
住所・連絡先	本社・工場 〒425-0045 静岡県焼津市杵宜島124-2 大井川工場 〒421-0203 静岡県焼津市藤守2045 (平成30年3月開設) 電話 054-624-5803 FAX 054-623-0046 web http://e-kashiwa.com/ info@e-kashiwa.com														
建設業許可	建築工事業・鋼構造物工事業 静岡県知事許可（般-3）第2124号 大臣認定 全構協Hグレード 認定番号 TFB H-214646														
事業内容	一般住宅・共同住宅・オフィスビル・工場・店舗・耐震ブレース・その他各種鉄骨の製作及び工事														
事業の規模	従業員数 30名（令和3年12月現在） 資本金 800万円 売上高 約5億2,457万円（令和2年度実績） 延べ床面積 3,580.3㎡														
主要取引先 (敬称略 50音順)	<table border="0"> <tr> <td>白幸産業株式会社</td><td>木下建設工業株式会社</td></tr> <tr> <td>株式会社 国都</td><td>五光建設株式会社</td></tr> <tr> <td>近藤建設工業株式会社</td><td>清水建設株式会社</td></tr> <tr> <td>瀬戸建設株式会社</td><td>第一建設株式会社</td></tr> <tr> <td>東急建設株式会社</td><td>戸田建設株式会社</td></tr> <tr> <td>日鉄物産システム建築株式会社</td><td>株式会社 橋本組</td></tr> <tr> <td>名工建設株式会社</td><td></td></tr> </table>	白幸産業株式会社	木下建設工業株式会社	株式会社 国都	五光建設株式会社	近藤建設工業株式会社	清水建設株式会社	瀬戸建設株式会社	第一建設株式会社	東急建設株式会社	戸田建設株式会社	日鉄物産システム建築株式会社	株式会社 橋本組	名工建設株式会社	
白幸産業株式会社	木下建設工業株式会社														
株式会社 国都	五光建設株式会社														
近藤建設工業株式会社	清水建設株式会社														
瀬戸建設株式会社	第一建設株式会社														
東急建設株式会社	戸田建設株式会社														
日鉄物産システム建築株式会社	株式会社 橋本組														
名工建設株式会社															
エコ アクション 21	<table border="0"> <tr> <td>認証・登録番号</td><td>0004784</td></tr> <tr> <td>認証・登録日</td><td>平成22年3月29日</td></tr> <tr> <td>有効期間</td><td>令和4年3月28日</td></tr> <tr> <td>環境管理責任者</td><td>中島初江</td></tr> <tr> <td>実務担当者</td><td>柏原佳香・中島重男</td></tr> <tr> <td>連絡先</td><td>k.kajiya@ka.tnc.ne.jp</td></tr> </table>  エコアクション21 認証番号0004784	認証・登録番号	0004784	認証・登録日	平成22年3月29日	有効期間	令和4年3月28日	環境管理責任者	中島初江	実務担当者	柏原佳香・中島重男	連絡先	k.kajiya@ka.tnc.ne.jp		
認証・登録番号	0004784														
認証・登録日	平成22年3月29日														
有効期間	令和4年3月28日														
環境管理責任者	中島初江														
実務担当者	柏原佳香・中島重男														
連絡先	k.kajiya@ka.tnc.ne.jp														

環境管理に関する組織図



環境管理における活動体制

代 表 者	柏原正明 ・ 環境活動の目標及び計画の承認 ・ 環境活動全体の評価と見直し及び指示 ・ 環境方針の策定及び改訂 ・ 経営資源の準備 ・ 経営の課題とチャンスの明確化 ・ 実施体制の構築	連絡担当者
環境管理責任者	中島初江 ・ 環境活動の計画立案及び実施と経営者への報告 ・ 環境活動の自己チェックの実施 ・ 環境方針及び活動計画の見直し ・ 環境教育の推進	
実 務 担 当 者	柏原佳香 中島重男 ・ 管理責任者の補佐 ・ 廃棄物の分別処理 ・ 管理データの収集及び比較整理 ・ 『環境経営レポート』の作成	

環境経営方針

株式会社柏原鐵工所は、建設事業を経営していくに当たり、地域との関わりを大切にし、環境に負担を掛けないように配慮し、ゴミ削減及び再利用・再資源化に寄与し、また、有害化学物質の低減を最大限に実現できるよう努力し、省資源化・省エネルギーを推進して二酸化炭素排出量を減らし、尚且つ経済的に成り立つ会社にして、持続可能な循環型社会づくりを目指します。

このような活動を通して地球温暖化の防止に貢献します。

活動指針

1	事業活動において、省資源化・省エネルギーを推進し二酸化炭素排出量の削減・水使用量の削減を目指す。
2	事業活動において、工場や工事現場で発生する産業廃棄物の排出削減を目指すと共に廃棄物の収集・分別を徹底して行い、再資源化できるように努める。
3	有害化学物質の含有量が少ない塗料や溶接棒の推奨に努める。
4	機械設備及び備品購入の際、グリーン購入の推奨に努める。
5	5 S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）活動を徹底する。 安全活動の推進に努める。
6	上記の活動を継続させるため、数値目標を設定し、それに基づいて査定・評価して日々の改善に努める。
7	事業活動において、弊社は環境関連法規制及びその他の関係法令を遵守し、環境保全に努める。
8	当社は上記活動を実施するに当り、本方針を従業員及び外注員全員に周知徹底します。

改訂日：令和 3 年 10 月 1 日 （株）柏原鐵工所 代表取締役 柏原正明

環境経営目標 (令和 2 年度)

弊社では今年度の『環境経営レポート』の基準年を〈平成 30 年度〉の実測値とし、そこから今年度の基準値及び目標値を設定して実測値と比較しました。そして比較項目は 13 項目としました。

基準年である平成 30 年度の実測値を、仕事量を同等にした上で、その数値から毎年マイナス 1 %を目標値とし比較する事としました。

【基準値・目標値の設定方法】

- ①各年度の受注件数の増減によって実測値が大きく変動するので、目標値との比較はそのままでは比較できないと考えます。仕事量に直接関係のある鋼材の購入量（支給材も含む）を基準とし、その増減の割合を基準年の各データに掛け合わせ比較します。

年 度	鋼材購入量(支給材含む)	割 合	基 準 値
平成 30 年度	4,342.7 t	100.0 %	基準年の各データ
令和元年度	4,021.6 t	92.6 %	←旧基準年に対する鋼材購入量の増減率
令和 2 年度	2,545.2 t	58.6 %	基準年のデータに 58.6 %を掛けた数字が基準値となる

- ②上記表のとおり、基準年の鋼材購入量（支給材も含む）を 100 %とすると、今年度とその増減率は 52.4 %となる。よって基準年の各項目のデータ数に 58.6 %掛けた数値が仕事量同等数値（以下『基準値』という）と言う事とします。

基準年の各項目のデータの数値	×	58.6 %	=	基準値
----------------	---	--------	---	-----

- ③上記計算を行うと各データ数値は基準年と比較できる“基準値”となる。この基準値から毎年 1 %削減した数値が今年度の『目標値』になります。

基準年の各項目のデータの基準値	×	98.0 %	=	目標値
-----------------	---	--------	---	-----

- ④これによって、令和 2 年度の各項目の“目標値”が出てきます。この数値が【実測値】と比較出来ることとなります。

この方程式を当てはめると令和 2 年度の各項目の目標値は、次項の表となります。



目標設定項目 (令和 2 年度)

中長期目標
(令和 2 年度～令和 4 年度)

年 度 比較項目		平成 30 年度 (2018 年)	令和 2 年度 (2020)		令和 3 年度 (2021)	令和 4 年度 (2022)
		基準年	基準値 基準年 × 58.6 %	目標値 基準値 × 98 %	目標値 基準値 × 97 %	目標値 基準値 × 96 %
電力使用量 (KWh)		178,938.0	104,870.8	102,773.4	－ 3 %	－ 4 %
水使用量 (m ³)		353.0	206.9	202.7	－ 3 %	－ 4 %
コピー用紙 (kg)		493.7	289.4	283.6	－ 3 %	－ 4 %
化石 燃料	ガソリン (L)	1,902.7	1,115.1	1,092.8	－ 3 %	－ 4 %
	軽油 (L)	3,265.1	1,913.6	1,875.3	－ 3 %	－ 4 %
産業 廃棄物 排出量	鉄くず (kg)	127,388.0	74,658.7	73,165.5	－ 3 %	－ 4 %
	ダンボール (kg)	1,000.0	586.1	574.4	－ 3 %	－ 4 %
	その他の 資源ゴミ (kg)	4,630.0	2,713.5	2,659.2	－ 3 %	－ 4 %
	埋立てゴミ (kg)	5,745.0	3,367.0	3,299.7	－ 3 %	－ 4 %
一般 廃棄物 排出量	燃えるゴミ (kg)	1,500.0	879.1	861.5	－ 3 %	－ 4 %
	その他の 資源ゴミ (kg)	879.5	515.5	505.1	－ 3 %	－ 4 %
有害化学物質 含有量 (kg)		4,858.3	2,847.3	2,790.4	－ 3 %	－ 4 %
二酸化炭素 排出量 (kg - CO ₂)		128,655.7	75,401.7	73,893.6	－ 3 %	－ 4 %

※基準年の購入電力の CO2 排出係数は、0.447kg - CO2 / kwh (日本テクノ(株)) を適用。

※産業廃棄物 (その他の資源ゴミ) は、木くず・廃油・プラ結束バンド・プレート型などを指す。

※一般廃棄物 (その他の資源ゴミ) は、新聞雑誌雑紙等の紙類・廃プラ (マーク付)・ペットボトルなどを指す。

※令和 3 年度以降の目標値は、その年の鋼材購入量 (支給材も含む) により変動します。

基準年も社会情勢や景気・仕事量の変化によって変更する場合があります。

【目標値について】

“基準年” の数値と対照年度の数値をそのまま比較すると、その年々の社会情勢とか景気によって仕事量が大きく左右されるので単純に比較するのは妥当ではないと判断しました。そこで仕事量を出来るだけ同等にするためには何かと考え、鋼材の購入量 (支給材も含め) が仕事量に影響するので、その増減率を他の数値に反映させて “基準値” とし、その基準値に削減率を掛けた数値を “目標値” とします。この目標値と対照年度の “実測値” を比較する事で、実測値同士を比較するよりも正確に比較できるものと考えました。

基準年も社会情勢や景気・仕事量の変化によって約 4 年くらいで変更しています。

環境経営計画（令和２年度）

取り組み事項	取り組み内容（詳細）	担当部署（責任者）
仕事を円滑に効率よくするための取り組み	5 S（整理・整頓・清潔・清掃・躰）の徹底、安全活動の継続	製造部 (青島)
	機械設備の定期点検・整備の徹底	
二酸化炭素排出量削減に関する取り組み	照明器具のLED化、蛍光灯その他電化製品の不必要時の消灯・省電	総務部 (柏原佳)
	空調設備の温度設定の徹底（夏26℃以上／冬22℃以下）	
	クールビズ・ウォームビズによる服装での調整	
	照明器具・空調設備の定期的な清掃	
	省エネタイプの設備機器の継続的導入	
	計画的な輸送・運搬の実現	管理部 (飯田)
	自動車の急発進・急加速の禁止、アイドリングストップの励行	
	安全運転の為にドライブレコーダー等安全装置の導入	
	自動車の定期点検・整備の励行	
一般及び産業廃棄物排出量の削減に関する取り組み	3 Rの徹底 Reduce（ゴミ削減）・Reuse（再利用）・Recycle（再資源化）	総務部 (中島初)
	一般及び産業廃棄物の分別の徹底	
	コピー用紙の両面印刷、使用済み紙の両面使用	
	図面及び書類等の電子化推進	管理部 (石原)
	廃棄物を出さないために購入時の再検討	
	材料・消耗部品等の無駄のない使い方を周知徹底	
	材料の在庫管理	
原材料や溶接材料に関する取り組み	原材料や溶接加工時に使用する炭酸ガス・酸素ガス・アセチレンガス・溶接材や塗料材等を効率よく最適な量を使用する	製造部 (木原)
有害化学物質削減に関する取り組み	顧客に対して有害化学物質の含有量が少ない、又は有害化学物質が含まれていない溶接材や塗料材を提案する	管理部 (石原)
水道水削減の取り組み	節水に努める	総務部 (柏原佳)
	止水の確認、漏水検査	
その他 環境活動の取り組み	グリーン購入の取組み	総務部 (中島初)
	防災訓練の実施	
	地域社会における社会貢献の推進	

今年度の目標・実績・評価（令和２年度）

年 度 比較項目		平成 30 年度 (2018 年)	令和 2 年度 (2020 年)		令和 2 年度 (2020 年)	評 価
		基準年	基準値 基準年 × 58.6 %	目標値 基準値 × 98 %	実測値	
電力使用量 (KWh)		178,938.0	104,870.8	102,773.4	127,871.0	×
水使用量 (m³)		353.0	206.9	202.7	446.0	×
コピー用紙使用量 (kg)		493.7	289.4	283.6	390.0	×
化石 燃料	ガソリン (L)	1,902.7	1,115.1	1,092.8	1,791.9	×
	軽油 (L)	3,265.1	1,913.6	1,875.3	3,140.5	×
産業 廃棄物 排出量	鉄くず (kg)	127,388.0	74,658.7	73,165.5	82,893.0	×
	ダンボール (kg)	1,000.0	586.1	574.4	560.0	○
	その他の 資源ゴミ (kg)	4,630.0	2,713.5	2,659.2	5,250.0	×
	埋め立てゴミ (kg)	5,745.0	3,367.0	3,299.7	3,493.0	×
一般 廃棄物 排出量	燃えるゴミ (kg)	1,500.0	879.1	861.5	1,375.0	×
	その他の 資源ゴミ (kg)	879.5	515.5	505.1	507.0	×
有害化学物質含有量 (kg)		4,858.3	2,847.3	2,790.4	875.0	○
二酸化炭素排出量 (kg - CO ₂)		128,655.7	75,401.7	73,893.6	89,114.9	×
二酸化炭素排出量 (kg - CO ₂)		103,896.0	60,883.2	59,665.6	89,114.9	×

※基準年の購入電力のCO₂排出係数は、0.447kg-CO₂ / kwh（日本テクノ㈱）を適用。

実測値の電力のCO₂排出係数は、出光グリーンパワー㈱ = 0.462 kg-CO₂ / kwh（本社工場 5 ヶ月）

鈴与商事㈱ = 0.553 kg-CO₂ / kwh（本社工場 7 ヶ月）

中部電力㈱ = 0.426 kg-CO₂ / kwh（大井川工場 12 ヶ月）を適用。

※最下段赤字（二酸化炭素排出量）は、CO₂排出係数を平均化した 0.509 kg-CO₂ / kwh を適用して比較した数値である。

※産業廃棄物（その他の資源ゴミ）は、木くず・廃油・プラ結束バンド・プレート型などを指す。

※一般廃棄物（その他の資源ゴミ）は、新聞雑誌雑紙等の紙類・廃プラ（マーク付）・ペットボトルなどを指す。

評価としては・・・

令和２年度はとんでもない年となってしまいました。なんと13項目有る中で目標値をクリアできた項目は2項目となってしまいました。こんなことは ea21 を始めて以来初めてです。昨年のレポートを見ればわかるのですが、【電力使用量】【水使用量】【コピー用紙使用量】と【二酸化炭素排出量】が平成23年度以来9年連続でクリアしていたのですが、残念ながら10年目にして途切れてしまいました。原因は一目瞭然で、“目標値”を出している計算式で、今年度の【鋼材購入量（支給材含む）】が平成30年度の基準年に比べて41.4%減の58.6%となり、それによって目標値が各項目当然ながら半分近くの数値になってしまいました。しかし、今年度の“実測値”はそこまで下がらなくてほとんどの数値が目標値を上回ってしまったという事です。クリア出来たのは産業廃棄物の【ダンボール排出量】と【有害化学物質含有量】で、特に有害化学物質は、逆に長年クリア出来ませんでした。今年度は塗料材に加え溶接棒の含有量も新たに加わりどうなる事かと思いましたが、施工会社側の方針変更による塗料材の変更により有害物質の排出量が大幅に下がったので全体としてクリア出来ました。なにか皮肉を感じます。項目別に見ていくと、水の使用量は手洗い等の増加で、一般・産業廃棄物のゴミの増加は仕事の空いた時間で鋼場内を隈なく片付けたことが原因と考えられます。

次年度目標：変更なし

この続きは P15 です。

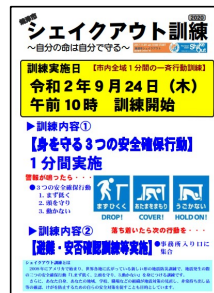
その他の環境活動

今年度は大変な年になってしまいました。2019年12月に中国・武漢市から広まったウイルスが人の移動によって瞬く間に広がり日本で初めての緊急事態制限が20年の4月に発令され、経済が一変しました。人の集まるすべての祭りやコンサート、各種イベントが中止になり、高校生の春夏甲子園大会も例外なく中止になりました。弊社でも打ち合わせや会議がパソコンの画面を見てするいわゆるリモート会議ということになり、焼津市のビーチクリーン作戦も“人が集まる”という事で中止になりました。

今年も焼津市で恒例となり武漢肺炎ウイルスの影響に関わらず9月24日「シェイクアウト訓練」が行われました。地震や津波などは、天候や伝染病に関係なく起こりますので、日々の訓練が大事です。弊社従業員や外注社員も一緒になって訓練を行いました。



毎年訓練を行う事で地震が起きた時に自然に体が動くようになれば良いですね。



今年4月より新たに「溶接ヒューム」及び「塩基性酸化マンガン」について労働者に神経障害などの悪影響を及ぼす恐れがあることが分かりました。「溶接ヒューム」とは、アーク溶接時にアークの高温で溶融した金属が蒸発して気体となり微粒子となって空気中を浮遊する金属または金属酸化物であり、人間が吸い込むことによって“じん肺”を引き起こし、神経機能障害や肺がんの原因になる可能性があります。事業者には溶接材の中に含まれる有害化学物質の把握と健康被害防止対策をすることを求められます。呼吸用保護マスクの着用とマスクが顔に合っているかの点検、排気装置の設置、ヒューム濃度の測定や溶接者の特殊健康診断の実施など多岐に亘ります。溶接作業は最も重要な製作工程になりますので、溶接材の選定や風上での作業位置とか作業場の床清掃・ゴミの処分方法など作業員への安全教育と管理を確実に実施していきたいと思います。



武漢ウィルスの影響で、弊社でも防疫対策の必要性に迫られ、マスク・手洗い・社会的距離が必須となりました。という事で、事務所にアクリル板、各部屋の出入口に消毒液、手洗い場には消毒液や紙タオルを設置、食堂にもアクリル板や消毒液、食事のときは同じ向きで黙食するようにしました。事務所受付けも同様です。仕事以外でも家族以外の人との接触は極力避けなければなりません。人間関係を壊しかねないさみしい処置ですね。



事務所受付けのアクリル板



食堂のアクリル板



食堂入口の消毒液



手洗い場の紙タオル

タオルの供用を廃止しました

ペーパータオルを使用して下さい

トイレ使用後は石けんで

手を洗ってください



今年度の活動評価 (令和2年度)

取り組み事項	取り組み内容 (詳細)	担当部署 責任者	評価	次年度
仕事を円滑に効率よく するための取り組み	5Sの徹底 (整理・整頓・清潔・清掃・躰)・安全 活動の継続	製造部 (青島)	× ※1	要改善
	機械設備の定期点検・整備の徹底		○	継続
二酸化炭素排出量削減 に関する取り組み	照明器具のLED化、蛍光灯その他電化製品の不必 要時の消灯・消電	総務部 (柏原佳)	○	継続
	空調設備の温度設定の徹底 (夏26℃以上 / 冬22℃以下)		△	継続
	クールビズ・ウォームビズによる服装での調節		○	継続
	照明器具・空調設備の定期的な清掃		△	継続
	省エネタイプの設備機器の継続的導入		△	継続
	計画的な輸送・運搬の実現	管理部 (飯田)	○	継続
	自動車の急発進・急加速の禁止、アイドリングス トップの励行		△	継続
	安全運転の為のドライブレコーダー等安全装置の 導入		○	継続
	自動車の定期点検・整備の励行		○	継続
一般及び産業廃棄物排 出量の削減に関する取 り組み	3Rの徹底 Reduce (ゴミ削減) Reuse (再利用) Recycle (再資源化)	総務部 (中島初)	△	継続
	一般及び産業廃棄物の分別の徹底		○	継続
	コピー用紙の両面使用・使用済み紙の両面使用		○	継続
	図面及び書類等の電子化推進	管理部 (石原)	○	継続
	廃棄物を出さないために購入時の再検討		△	継続
	材料・消耗部品等、無駄の無い使い方を周知徹底		○	継続
	材料在庫の管理		○	継続
原材料や溶接材料に関 する取り組み	原材料や溶接加工時に使用する炭酸ガス・酸素ガ ス・アセチレンガス・溶接材や塗料材等を効率よく 最適な量を使用する	製造部 (木原)	○	継続
有害化学物質削減に関 する取り組み	顧客に対して有害化学物質の含有量が少ない、又 は有害化学物質が含まれていない溶接材や塗料材 を提案する	管理部 (石原)	○	継続
水道水削減の取り組み	節水に努める	総務部 (柏原佳)	○	継続
	止水の確認、漏水検査		△	継続
その他 環境活動の取 り組み	グリーン購入	総務部 (中島初)	○	継続
	防災訓練の実施		○	継続
	地域社会における社会貢献の推進		× ※2	要改善

※1 5Sの徹底が出来ていなかった為。次年度は指導の回数を増やす。

※2 社会貢献の取り組みは武漢ウイルスの影響で中止となりました。

該当環境関連法規、訴訟の有無

法律名	該当する要求	該当整備・項目	届け出先・報告先	評価項目	評価
建築基準法	・建築基準の遵守 ・建築工事業の許可	・設計・施工 ・工事業 ・工場	静岡県 国土交通省	許可期限	○
				認定期限	○
廃棄物処理法	《一般廃棄物》 ・一般廃棄物収集 業者許可確認	・紙くず ・木くず その他	なし	許可業者	○
	《産業廃棄物》 ・産業廃棄物委託業者との 契約 ・処理基準の遵守 ・保管基準の遵守 60cm×60cm以上の表示 飛散、浸透防止、衛生管理 マニフェストの集計、報告	・廃油 ・汚泥 ・廃ブラ その他	マニフェストの期限 内返却しない場合 ……………知事へ報告 前年度の交付状況 ……………知事へ報告	契約書 許可書	○
				マニフェスト管 理	○
静岡県産業廃棄物 の適正な処理に 関する条例	・管理責任者の設置 ・処理の委託先の実地確認 とその記録の保存	・廃油 ・汚泥 ・廃ブラ その他	不適正な処理が行わ れた場合 ……………知事へ報告	委託業者	○
騒音規制法	・特定施設への届け出 ・規制基準の遵守	・コンプレッサー ・油圧機・切断機	焼津市	新設・変更	○
				基準の遵守	○
振動規制法	・特定施設への届け出 ・規制基準の遵守	・コンプレッサー ・油圧機・切断機	焼津市	新設・変更	○
				基準の遵守	○
静岡県生活環境の 保全等に関する 条例	・特定施設への届け出 ・規制基準の遵守	・ボール盤 ・研磨機 ・ショットブラスト	焼津市	新設・変更	○
				基準の遵守	○
浄化槽法	・浄化槽の設置 ・変更の届け出 ・法定点検	・分離式 バッキ方式 20人	新設・変更の場合 ……………知事へ届け出	新設・変更	○
				点検 1回/3ヶ月	○
消防法	・指定可燃物の届け出 (指定数量の1/5以上)	・塗料 2,000kg	焼津消防署	新規・変更	○
労働安全衛生法	・鉱物性粉じんの定期的測 定検査 ・溶接ヒュームの定期的測 定検査 (特定化学物質の取り扱 い管理)	・特定化学物質 ・換気設備の設置 ・作業主任者の設 置 ・呼吸用保護具の フィットテスト (1年以内毎に1回)	島田労働基準監督署	・塵肺健康診断 (3年に1回)	○
				・特定化学物質 健康診断 (半年に1回)	○
PRTR法	・有害化学物質管理	・キシレン、トル エン、鉛	静岡県省庁 …届け出基準値以下	許可期限	—
フロン排出抑制法	・冷凍空調機器 全ての第一種特定機器が 対象	・自社に於いて簡 易点検実施 (3ヶ月に1度以上)	企業・法人の管理者 が確認		○

遵守評価日：令和3年10月31日

法規制の遵守評価の結果、逸脱は有りませんでした。

過去3年間、当事業所における業務上関係のある法令及び条例違反、地域住民利害関係者からの訴訟及び苦情はありません。

地震、火災、液体物の漏れ等による緊急時対応マニュアル

1. 適用範囲	鉄工場敷地内（工場、事務所、資材置き場 他）
2. 目的	予防処置、発生時の処置を定め、汚染拡大を防止する。
3. 予防措置	①工場内及び作業中は“禁煙”とする。（休憩時間に指定場所でのみ喫煙） ②指定場所には消火器を設置し、法定点検を厳守する。 ③工場内等で火気を使用する場合は周りを片付け、燃えやすい物がないか安全を確かめてから実施すること。 ④重量物を保管する場合はあまり高く積み上げない事。 やむを得ず積み上げるときは、荷崩れしないような対策を講じておく事。 ⑤5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の徹底。
4. 緊急時の対応 （地震・火災）	地震、火災等が発生した場合、人命を第一に行動すること。 ①緊急時、人が倒れていた場合は安全な場所まで移動させる。 ②意識の有無を確認。無かった場合は声をかける、肩をたたく等の刺激を与えて、反応を確認（体をゆすったり、動かしたりしない）。 ③大声で周りの人に応援要請し、消防に通報、気道の確保、人工呼吸を行う。 ④外出血、特に大出血を認めた場合は直ちに止血の処置を行う。
《地震の場合》	①激震等の緊急事態が発生したら、安全な場所への一次避難を実施する。 ②地震がおさまったら主電源を切ること。二次避難の実施。 ③安全なことを確認の後、保管品の状態確認。 ④保管品の飛散状態を確認し、液体物での漏れ等で水質や土壤汚染が考えられる場合は大声で周りの人に応援要請する。 ⑤液体物での漏れ等が確認されれば、直ちにウエス等で周囲を囲い、流失拡大の防止に努める。 ⑥安全管理責任者に報告し、その後の処置を仰ぐ。 ⑦津波警報が発令された場合は、大事なものだけを持ち、4階現寸場へ全員避難する。
《火災の場合》	①火災等の緊急事態が発生したら大声で周りの人に通報。その後構内放送で応援要請する。危険と判断したら即座に非難する。 ②応援要請を受けたものは直ちに消防へ連絡し、消火活動にあたる。 ③対応不可能と判断した場合は、直ちに消防へ連絡し、危険と感じたら即座に避難を開始する。 ④消防管理者に報告し、その後の処置を仰ぐ。
5. 緊急連絡網	緊急時の緊急連絡網は別紙あり。
6. 防災訓練	実施日：令和2年9月24日 焼津市主催のシェイクアウト訓練に参加。 火災報知機や消火器の法定点検の実施。

代表者による評価と見直し及び指示

今年度は武漢肺炎ウイルスで日本中が影響を受け、経済は大混乱になっています。飲食業界・旅行業界・宿泊施設等は大打撃を受けている。その反対にアマゾン、楽天等のネット通信販売やネットフリックスに代表されるネット配信が好景気となっています。政権も菅義偉首相が1年の短命に終わり、岸田文雄首相になり新しい施策を打ち出していますがどうなる事でしょうか。私としては消費税を期間限定で5%にするかゼロにすれば景気はすぐに回復すると思うのですがどうでしょうか。



今年度は建築業界にも武漢肺炎の影響を多少なりとも受け、工場やホテル、マンションなどの中小案件の計画延期や中止が発生し、弊社でもその影響をもろに受け、鉄骨鋼材購入量（支給材含む）が基準年から見て58.6%、対前年比でも63.3%と減少している。これによって目標値が下がりその結果目標をクリア出来たのは2/13となってしまった。クリア出来たのはダンボールの排出量と有害化学物質の排出量であり、後者は、今年度より始まった溶接棒の有害化学物質が加わったのでどうなるかと心配しましたが、塗料材のそれが思った以上に下がったことで、今まで提唱してきたことが実ってきたのかなぁ・・・と思います。

今年度の評価は、当然『× 努力して来年頑張らしましょう』となります。

来年度のea21の活動は、ゼネコン間で受注競争が激しくなり、受注件数が減ったり、受注金額のコストカットを要求されたりしていますが、方針・計画は変更なく続けたいと思います。

代表者による指示としては、環境経営方針・目標・計画・実施体制は継続とします。

来年度も目標値を下回るように更なる努力・協力を従業員にお願いし、協力会社様にも同様な対応をして頂くように、会社一丸となって持続可能な循環型社会の構築を目指していこうと思います。これからもよろしくお願い致します。

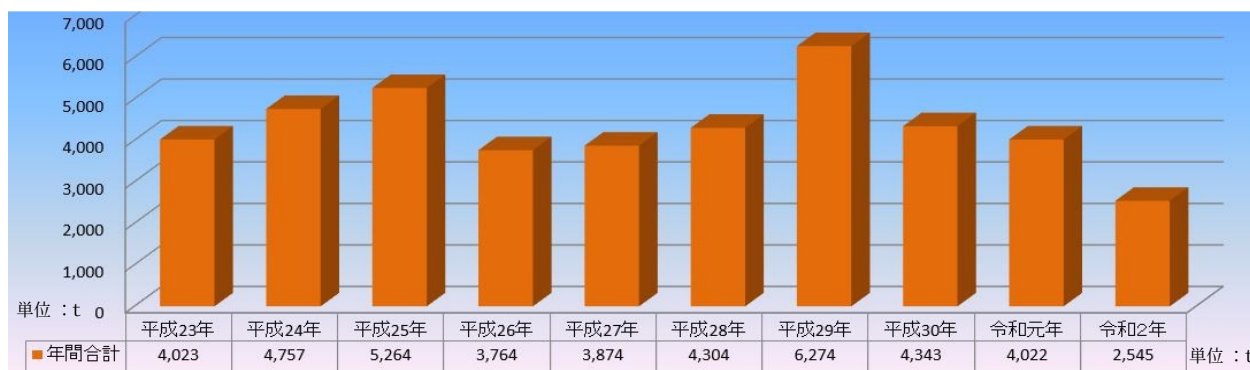
令和3年12月

株式会社 柏原鐵工所
代表取締役社長 柏原正明

来年度に向けて

P9 からの続きです。

【グリーン購入】は比較項目に入っていませんが、約40品目となりました。事務用品がほとんどですが、工場内の機械設備にも対象品があったら購入に向けて検討してほしいです。
(追加資料 グリーン購入商品リスト添付)



上記の表は、直近10年の鉄骨鋼材購入量（支給材含む）です。この表を見ると大体4,000t前後で推移しています。但し、平成29年の“6,000t 超え”と令和2年の“3,000t 割れ”を除けば・・・です。如何に今年度の購入量が少なかったかが解ります。これも武漢肺炎ウイルスの影響でしょうか。

次年度は、今年度以上節電節約に努め、鉄骨の残材削減に努め、産廃の分別をし、有害化学物質の低減に向けて努力したいと思います。



今、日本では再生可能エネルギーが広がっています。水力、風力、太陽光発電に代表される自然の力を利用して発電することですが、良い事ばかりでなく悪い点もあります。自然破壊を招き、天候などの自然災害に左右され電力の安定供給に欠け、蓄電池の性能向上も課題の一つです。太陽光パネルの使用後の廃棄処理はどうなるのでしょうか。火力発電はCO2を出す“欠点”はありますが、日本の石炭火力発電設備は世界のトップクラスで大気汚染物質の90%以上を除去しており、発電効率も世界最高水準です。原子力発電はCO2を出しません但事故の事を考えると、新規の増設は反対ですが今ある原発は稼働させていいのでは・・・、と思っています。どれかに突出するでなく各特徴を生かして日本のやり方をしていけば良いと思います。

ea21の活動について何か疑問・質問・意見等ありましたら担当者まで申し出てください。来年度に活かせるようにしたいと思います。
最後までお読み頂きありがとうございました。

令和3年12月

ea21 担当者より

